

2024年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語	英語コミュニケーション I b	2	CI 701	東京書籍	All Aboard! English Communication I

目標 【学習指導要領】	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域(以下この節において「五つの領域」という。)別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。 (1)聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (2)読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (3)話すこと[やり取り] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。 (4)話すこと[発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 (5)書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	4領域のバランスのとれた英語力の向上を図るため、その土台となる①文法事項の基礎的理解②語彙の修得、さらにその運用能力を高めるため自分自身の日常生活で起きる出来事や思いや考えを英語で伝える意欲を培う指導に努める。
評価の観点	【知識・技能】各章において歴史や地球環境、文学作品など幅広い視野・知識を取り入れることができ、単語も多様な分野に渡り修得できているか。 【思考・判断・表現】課題を進めると共に文法や語彙を理解し、本文の読解力につなげることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】最終章に進むほど長文になり単語数が増えるため、集中力が問われる。授業中の態度にも重きをおいて判断する。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
	4月 (10月)	Lesson 6 (The Funny Pictures from the Edo Period) 【言語材料】受け身<be動詞+過去分詞> 「言語活動」好きな絵を英語で述べる	江戸時代の浮世絵と現代のマンガの関連を学び、好きな絵の紹介と理由を受け身形を用いて情報や考え、気持ちを話して伝えあう技能を身に付ける。	第7回	4月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月 (11月)	Lesson 7 (A Diary of Hope) 【言語材料】比較表現 【言語活動】関心ある人物について英語で説明することができる	・比較表現を用いてアンネフランクや自分に関心のある人物について学んだことを伝え合う。 ・比較級最上級を理解し慣れる。	第8回	5月 (11月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書

前期 (後期)	5月 (11月)	Lesson8 (A Door to a New Life) 【言語材料】 現在完了形<have/has+過去分詞> 【言語活動】人の生活を豊かにするロボット について英語で提案することができる Communication 乗換案内	現在完了形も用いた文 の形・意味用法を理解 し、ロボットカフェにつ いて学んだりロボットに ついて自分で調べたこ とを伝える。	第9回	5月 (11月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書
	6月 (11月)	Lesson9 (Fighting Plastic Pollution) 【言語材料】 名詞を後ろから説明する分詞 【言語活動】 環境を守るためにできることについて、英 語で表現できる	「名詞を後ろから説明 する分詞」が用いら れた文を理解し、プラス チックごみの問題を調 べ、自分たちでできる ことを伝え合う。	第10回	6月 (11月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書
	6月 (12月)	Lesson10 (Pigs from across the Sea) 【言語材料】関係代名詞:who,which 【言語活動】海外の文化や社会に対する 理解を深める活動について、英語で述べ ることができる。	関係代名詞who,which を用いた文の形・意味・ 用法を理解している。 第二次世界大戦ごの 沖縄へのハワイの援助 や現代までの交流を学 ぶ。世界の文化や社会 について伝え合う。	第11回	6月 (12月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書
	7月 (12月)	Reading 2(The Wizard of Oz) 【言語材料】家ごと大竜巻に飛ばされドロ シーと愛犬トが家に戻るまでの冒険 【言語活動】ドロシーの気持ちを考えなが ら音読する (Extra Target)	・ストーリーの内容を理 解し、場面や心情を読 み取ることができる。 ・仮定法過去を理解す る。 <If+過去形の文、I would...>	第12回	7月 (12月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書
	1月 (9月)	教科書lesson7～10より ◇受動態 ◇現在完了形 ◇比較表現 ◇名詞を後ろから説明する分詞 ◇関係代名詞 ◇仮定法	(教師の到達目標) ・好ましい学習規律の 中で生徒たちが楽しい 雰囲気のもと、意欲的 に学習できたか。	第7～12回	スクーリング 10～12月 (6～7月)	各Lessonにお ける重要課題 を理解し応用 力をつけ英文 の読解ができ る。	4	行動観察 課題プリント レポート 視聴報告書
		単位認定試験						
面接指導(単位時間) 合計							4	